



第51回 地盤工学セミナー報告会

日 時： 2026 年 10 月 9 日（金） 13：30～16：30 （開場：12 時 30 分～）

場 所： 米子文化ホール （1F）イベントホール

< アクセス：鳥取県米子市末広町 293 >

徒 歩： JR 米子駅より、2 分

自家用車： 「ビッグシップ前立体駐車場」 「米子駅前立体駐車場（イオン米子駅前店）」を
ご利用いただけます。詳しくは、米子文化ホールのサイトにてご確認ください。

参加費： 一律 2,000 円／人

- ※ 会場での現金他による参加費の徴収は行いません。ご了承ください。
- ※ 報告会終了後に請求書をお送りいたします。銀行振込にてお支払いください。

定 員： 90 名

申込方法： 参加をご希望の方は、以下のリンクまたは QR コードよりお申込みください。

<https://jgschugoku.jp/seminar51th.html>

☆ 代表者様による複数名のお申し込みも可能です。



申込期日： 2026 年 10 月 5 日（月）

◆ プログラム 13：30 ～ 16：25

時 間	内 容	発 表 者
13：30 ～ 13：45 （鳥取地域）	鳥取地域の活動報告	菊地 涼 氏 【株式会社 ウエスコ】
13：45 ～ 14：00 （島根地域）	鉄鋼スラグ混合土の盛土材料としての適用性について	堀田 崇之 氏 【松江工業高等専門学校】
14：00 ～ 15：30	ポスターセッション	
15：30 ～ 15：40	（休 憩）	
15：40 ～ 15：55 （岡山地域）	2025 年度岡山地域活動報告，2026 年度活動計画	西垣 誠 氏 【統合物性モデル技術研究組合】
15：55 ～ 16：10 （山口地域）	衛星観測と 3D 計測を活用した斜面災害リスク評価技術の研究	荒木 功平 氏 【徳山工業高等専門学校】
16：10 ～ 16：25 （広島地域）	広島地域の紹介と活動報告	畠 俊郎 氏 【広島大学】 北出 圭介 氏 【中電技術コンサルタント株式会社】



◆ ポスターセッション 14:00～15:30

1.	斜面勾配を用いた表層クリープの安定性評価	木村 隆行、種平 一成（㈱エイト日本技術開発）
2.	データ統合による省力化と地下可視化の実現	花田 拓也、宮本 広富美（㈱ウエスコ）
3.	長期動態観測により判明した抑止杭下の新たなすべり面	菅 大誠、有本 行秀、森脇 宏、秦 二郎（西日本高速道路エンジニアリング中国㈱）
4.	地震応答解析による礫の格子状配置が砂地盤の地震時応答に及ぼす影響	岑 綾音、吉本 憲正、中田 幸男（山口大学）、北出 圭介（中電技術コンサルタント㈱）
5.	砂中における TBAB ハイドレートの生成挙動に及ぼす TBAB 濃度及び温度の影響	富島 貴心、吉本 憲正、中田 幸男（山口大学）
6.	非整形岩石の点載荷試験：平松らの式 vs ISRM 推奨式	網 真吾、河野 勝宣（鳥取大学）
7.	NaCl 水溶液下のクニゲル V1 ベントナイトの 1000 日間膨潤圧・透水実験	宝利 健太郎、河野 勝宣（鳥取大学）
8.	地震時の崩壊性地すべりポテンシャル斜面の抽出： 5 地震の崩壊発生地域を対象としたケーススタディ	兼子 卓、河野 勝宣（鳥取大学）
9.	鳥取県沿岸低地の海成粘土における堆積環境と地盤物性の関係 ― 北条平野の調査結果と地盤改良リスク評価に向けた研究計画 ―	山口 健二（㈱技術コンサルタント／鳥取大学）、河野 勝宣（鳥取大学）
10.	物理特性値に基づくクリンカアッシュ・建設発生土混合試料のせん断強度推定	砂原 遼大、吉本 憲正（山口大学）、樋野 和俊（中国高圧コンクリート工業㈱）、 須藤 洋幸、坂本 篤（日本国土開発㈱）
11.	原位置由来微生物が形成するバイオフィルムの透水性低下効果に関する基礎的検討	岡山 桃子、畠 俊郎（広島大学）
12.	増粘剤を併用した微生物固化技術の出砂対策としての有効性評価に関する実験的検討	高安 隼登、岡山 桃子、畠 俊郎（広島大学）
13.	X 線ラジオグラフィを用いた補強材敷設地盤の変形挙動の可視化	玉置 尊、木戸 隆之祐（広島大学）
14.	大豆から簡易的に抽出した酵素を用いた EICP 技術における大豆溶液濃度の影響評価	福原 寛二、畠 俊郎（広島大学）
15.	柑橘皮を添加した浚渫土の改良効果に関する基礎的検討	郭 雨廷、畠 俊郎（広島大学）
16.	ミュオグラフィを用いた地山の密度の推定	江村 隼青、柴田 俊文、西村 伸一、福元 豊（岡山大学）
17.	覆工ひずみに基づく農業用水路トンネルの作用応力推定	曹 秋雨、柴田 俊文、西村 伸一、福元 豊（岡山大学）
18.	Computational Modelling of Landslide Susceptibility using Machine Learning Algorithm.	Prasun Thapa, Kiyoshi Masumoto, Tetsuya Sakai（Shimane Univ.）
19.	CO2 ハイドレート含有砂のせん断特性に及ぼす飽和条件の影響	中村 創真、新谷 元規、吉本 憲正、中田 幸男（山口大学）、菅原 武（大阪大学）
20.	砂中における CO2 ハイドレート生成挙動の解析的検討	新谷 元規、五島 佑馬、吉本 憲正、中田 幸男（山口大学）、菅原 武（大阪大学）
21.	MPM-DDA に対する GNS の適用と切削抵抗の推定	松見 慎之介、畠 俊郎（広島大学）、橋本 涼太（京都大学）、 関塚 良太、島津 泰彦、Paul Wong、土井 隆行（コベルコ建機㈱）
22.	CO2・SF6 単体およびそれらの混合ガスハイドレート含有砂のせん断特性	近藤 俊輔、五島 佑馬、吉本 憲正（山口大学）、 菅原 武（大阪大学）、中田 幸男（山口大学）
23.	すべり面形成履歴が粘土の繰返しせん断挙動に及ぼす影響	佐藤 和樹、鈴木 素之、高原 蒼、軸屋 雄太（山口大学）
24.	粒度特性値に着目した蒸発効率の土中水分依存性モデルに関する検討	山田 結斗、軸屋 雄太、鈴木 素之（山口大学）
25.	TBAB 改良土の力学特性における濃度および飽和度の影響に関する研究	藤本 健史、畠 俊郎（広島大学）
26.	備北層群の緩斜面に見られる地すべり機構の一考察	佐衛田 亮太、濱中 俊史（西日本高速道路エンジニアリング中国㈱）
27.	最大すべり面深度 40m の地すべり移動体の構造的特徴 ― 高速道路に隣接する大規模岩盤地すべりを例として ―	濱中 俊史（西日本高速道路エンジニアリング中国㈱）
28.	秋田県及び山形県沖を対象とした海水温上昇を考慮した CO2+SF6 混合ガスハイドレートによる CO2 貯留ポテンシャルの評価	五島 佑馬、新谷 元規、吉本 憲正、中田 幸男（山口大学）、菅原 武（大阪大学）
29.	地盤データベースに基づく階層ベース法を利用した特定サイト地盤定数の推定	中谷 聡希、西村 伸一、柴田 俊文（岡山大学）